

# ■■ 学生による語り合いのシンポジオン 2017 報告 ■■

## 1. 概要

- ・日時 2017年7月9日(日)、14:15-15:45
- ・場所 信州大学長野キャンパス、講義棟
- ・テーマ 学内外における学生主体の建築活動
- ・参加者 32人  
職業人 12人 信州大 5人、長岡造形大 3人  
金沢工大 1人、富山支所 2人  
学生 20人程  
長岡造形大 4-6人、あとは信州大 15-20人
- スタッフ  
司会、世話人会  
野田代表(福井大学大学院生)  
実行委員会 遠藤秀平(信州大学教員)

### ・スケジュール

- 14:20-14:25 挨拶、趣旨説明、実施要領
- 14:25-14:40 信州大2年生チーム
- 14:40-14:50 信州大3年生チーム
- 14:50-15:00 福井大チーム
- 15:00-15:35 自由討議
- 14:35-14:45 教員意見
- 14:44-14:45 終わりの挨拶



本稿はシンポジオンの結果報告である。楽しい雰囲気を書き留めたつもりである。ただし、編者の聞き取りと記憶で構成のため、コッスの相違や地名などでミスがあるかもしれない。冒頭、お断りいたしておきます。

## 2. 挨拶

### 2.1 支部大会実行委員長の土本先生

aij 北陸支部がここ十数年取り組んできた学生向けの気楽で楽しめる企画が本シンポジオンです。みなさん、大いに交流を深め楽しんでください。

### 2.2 応援者富樫氏

研究発表だけではなく、知的交流を会員同士、学生同士図るべきとの趣旨で、長野の地においてスタートして15年経過いたしました。よくここまで続いたも

のとおっております。継続は力なり、とはまさにこのことかと存じます。

学生の皆さん、教室を離れて自由に学生どうし、さらに先生方他の職業人と、知的交流として大いにディスカッションを楽しんでください。

## 2.3 実施要領(司会の野田氏)

今回は、開始時間が例年より大幅に遅く設定いたしました関係上、長野地区以外からの学生さんの参加が少ないものの、学生発表チームは信州大から二チームが出場し、またギャラリーも30人を超える盛況となっております。まずは、参加の皆さんに感謝申し上げます。

シンポジオンは、普通のシンポジウムとは異なって、参加者全員が討論者として楽しむことをモットーとしております。ここにおられる学生諸君は初めての参加で焼け分らない面がおりかと思っておりますが、そこは恐れを知らない若さを大いに発揮して、自分らのやっていることを大いにPRし、皆さんとともに語り合いや議論を楽しんでください。

## 3. 学生チームのプレゼンテーション

### 3.1 信州大2年生チーム

テーマ：初等建築学生の建築活動

発表者：\*\*、\*\*、\*\*



3名の学生が一人一人、建築活動を紹介した。

#### 3.1.1 ドイツ環境学 by \*\*

授業でドイツ環境学という講義がある。目的は、ドイツ語研修とドイツ建築見学である。自分らがドイツに行って学んだことを海外活動として、次のように紹介しておられた。

#### A. 省エネ住宅比較

ミュンヘンやフランクフルトなどの住宅地にある省エネ住宅を視察した。見学の際に着目した部位は窓や壁である。以下に特徴的なことを列挙する。

窓ガラスの使用枚数3枚、サッシも

壁の厚さは48cm

断熱材は木質系で。熱交換システムも導入。

なお、パッシブハウスも多々見学した。

#### B. 建物見学

ケルン大聖堂やノインシュタイン城を見学した。

#### 3.1.2 環境マインド体験 by \*\*

環境マインドを現場で体験するゼミがあり、これに参加している。現場としてマレーシアのボルネオ島に赴き、森林と文化について以下のように現場体験した。

森林違法伐採 環境や社会に悪影響

異文化を体験 現地の村や都市に滞在して体験を通して感じたことは本当の「豊かさ」とは何かである。いい勉強になった。

#### 3.1.3 ベトナムの建築と文化 by \*\*

「ベトナムの建築と文化」について話されていた。ベトナム FPT 大学に出向き、英語の勉強およびグローバル企業インターンシップを行った。視察した建築は以下のとおりである。

ベトナムダナン ベトナム五行山

ベトナム仏教建築 昔ながらの商店街ダナン

### 3.2 信州大学3年生チーム

テーマ：「信州大学建築サークル KNOT!活動報告」

発表者： \*\* \*\* \*



KNOTの目的は、建築を通して、他学年、他大学、地域、につながる活動をするにあるとのこと。

#### A. 大学間活動 by \*\*さん

・即日設計 2年生中心で3年生と組む。グループをつくり、そのときのテーマは「つながる建築」である。

・模型作り 住吉の長屋を制作対象。

・他大学との活動

冬合宿として、信州大、富山大、長岡造形大、金沢工大の学生(有志)で妙高自然の家にて、グループに分かれ即日設計をおこなった。また長岡造形大学を見学した。

春合宿では、信州大、長岡造形、金沢工業大、前橋工業大の学生(有志)で、軽井沢、上田、小布施めぐりを行った。また、TAMAGO展(富山大主催)にも参加した。これは北信越にある大学で1-3年対象の新人向け合同

設計展であり、参加によって、大学間の距離が短くなる。交流が生まれ、スワップができた。とのことである。

#### B. 地域での活動 by \*\*さん

CREEKSにおける活動として、善光寺前のワーキングスペース(1Fはカフェ、2Fはワークスペース)にて、建築家の広沢毅さんを招き、即日設計をした。具体的には、一人一案を一時間内で設計し、A3版1枚でまとめ、講評をいただくものである。大いに勉強になったとのこと。

#### C. これからのKNOT by \*\*さん

可能性を広げることを考えている。知識を高め、新たなヒントをさがりながら、少しずつ変わってきている。この勢いで臨んでいきたい。旨の話であった。

### 3.3 福井大学チーム

テーマ：自分らしく暮らすこととは

発表者：野田氏



福井市芦原市にある職住接近の施設「はすのみハウス」があり、ここでは、障害者が自分らしく暮らすことができるように種々工夫されている。私はそこに非常勤勤務をして表記テーマで介護を実践されていた。皆さんと意見交流したく話題を持参した。

#### (1)施設紹介

・暮らしについては、日常の暮らしと仕事ができる場をしっかりと分離して、両者についてメリハリを付けている。

・多人数居住はしなくなってきた。居住者が自分らしい生活をめざして施設を出て町中で暮らし始める。本施設でも周辺の空家のいくつかを障害者施設として活用している。

・居室については、昔は大部屋。今は個室である。個室の場合には個性が出てくる。

・介護では自立支援が目的としている。皿洗い、洗濯、パズル遊び、カラオケ、など日常での練習がある。また外に対しては回転すしに行ったり、地域祭りに参加したりしている。

#### (2)障害者年金について

皆さんにも年金の事を知っていただきたくここに述べられた。等級によって支給額がことなる。以下に紹介する。

一級 8.1万円 二級 6.5万円

日常の必要経費を参考までに述べると。

家賃 2.5万円 食事 2.7万円

(3)まとめ ほんの少しの働きかけで最大限の力を発揮して「自分らしく暮せる」ようにしたいものである。そういつてしめくられた。

#### 4. 自由討議、語り合い

三チームのプレゼン終了の後、自由討議となった。聴衆が、関心ある話題を提供した学生チームの所に出かけ、その学生と自由に語り合った。

聞き及んだことを少し列挙する。

- ・1時間の即設計では、結構短い時間とはいえよく描けてますね。(信州大3年生チームが関連の図面を持参していた)
- ・学生の海外研修を通常の科目で実施とは、驚きである。
- ・北陸支部でシンポジウムをやったとは知らなかった。面白く、楽しいですね。
- ・やはり海外にも目を向けるのはいいものです。



- ・後藤哲男氏
- ・土本俊和氏
- ・富樫 (あの場にいたならば以下のことを発言したと思います) 今回はかなり時間の制約があり、これまでのシンポの簡略版となりましたが、それでも参加の皆さんの熱い思いでこうもエネルギー種に知的交流ができたこと、うれしい限りです。

これからもシンポジウムを続得ていきますので、学生の皆さん・先生方、よろしく願いいたします。

#### 5. おわりに

司会から、おわりのあいさつがあった。

#### 5. 感想・意見

7人の先生方からコメントをいただいた。



- ・遠藤秀平氏
- ・高村秀紀氏
- ・須田達氏
- ・津村泰範氏
- ・広川智子氏

話題提供の学生が原稿なしで説明していたのには驚いた。それだけ、活動を自分のものに行っている結果といえる。